

皆さん、おはようございます。メルボルンの日本国総領事の島田です。今日は UNAAV(オーストラリア国際連合協会ビクトリア支部)による日本語模擬国連の開会にあたり、少しお話をさせていただきたいと思います。

私は去年の初めにメルボルンに来ました。その時はロックダウン中で、メルボルンに来たのはその時が初めてでした。多くの緑といろいろな文化が集まったメルボルンはとても素敵な街だと思います。

私はこれまで東京、ワシントン D.C.、北京、ジャカルタで日本の外交官として仕事をしてきました。40 年以上も前、まだ私が大学生だった頃、初めて訪れた外国の地がシドニーでした。憧れのオーストラリアで働くことが出来て大変嬉しく思っています。

今日は **Rewrite the Future: Quality Education for All** というトピックで話し合いをすると聞いています。皆さんは新型コロナウイルスにより、ロックダウンなど学校に行きたくても行けないという経験をしました。COVID が広まった 2020 年には世界中の多くの国々の学校が閉鎖されました。皆さんも長い間オンライン授業だったと思います。この日本語模擬国連も去年はオンライン開催でした。国連によると、2020 年には世界中の学生の 91 パーセント以上が休校等による影響を受けたとのこと。また今年になってからは、ウクライナをはじめとした紛争によって難民となった子供たちの多くが学校教育を受けられない状態に置かれています。

今日は世界中の人々が平等に教育を受けられるようになることについて、オーストラリアの高校生の皆さんが、日本語で話し合いをすると聞いて大変うれしく思っています。これからも日本語学習を通じて、日本そして世界についてより理解を深めてもらいたいと思います。日本や世界をよく知ることで、皆さんは自分の国オーストラリアについても理解を深められるだけでなく、これまで気づかなかった発見や見方もできるようになるのではないかと思います。

日本ではやっと先月から海外からの観光客を受け入れられるようになりました。オーストラリアからも是非多くの方々に日本に行っていただいて、日本の文化や美しい自然を知ってもらいたいと思っています。そして皆さんには是非旅行先で日本語を試してみてもらいたいと思います。今日の模擬国連が世界の人々に夢と勇気を与えられるような実りのある会議になることを願っています。

これをもって開会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。